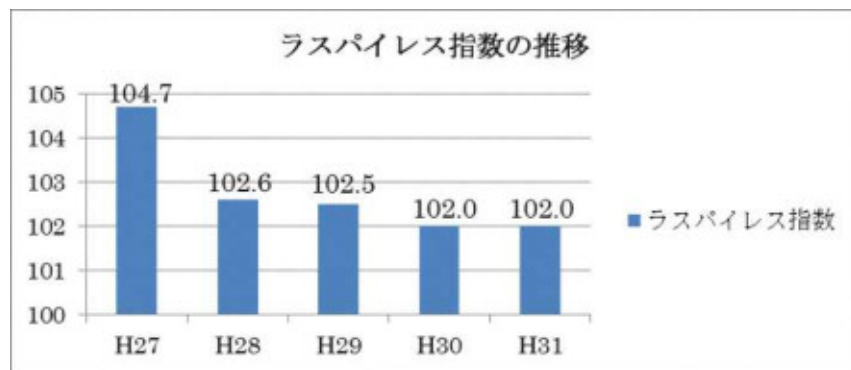


芦屋市のラスパイレス指数について

芦屋市のラスパイレス指数

令和元年12月24日に総務省から平成31年の地方公務員給与実態調査の結果が公表され、本市のラスパイレス指数（平成31年4月1日）は102.0（前年比0ポイント）で全国31位（中核市を含み、政令指定都市を除く市区町村）となっています。



ラスパイレス指数が高水準な要因

主に以下の2つの要因によりラスパイレス指数が高くなっています。

（1）「新規採用者数の抑制」と「団塊の世代の退職」を起因とした管理職の昇任年齢の引下げによる要因

本市では阪神・淡路大震災の復興財源を確保するために、新規採用者数の抑制や欠員不補充などの職員数の削減を行ない、総人件費の削減に取り組んできました。その結果、本市のラスパイレス指数の算出対象となる一般行政職員数はピーク時の平成7年4月1日の502人から平成27年には341人まで減少し、平成31年4月1日では385人（平成7年比▲23.3%）となっています。

職員数の削減と同様に、管理職ポストについても整理・統合を行なってきましたが、団塊の世代の職員の定年退職に伴い、若い職員を管理職に登用することになり、同じ経験年数の国家公務員と本市の職員を比較すると、早い段階で管理職に昇任している分、本市の給料月額の方が高くなることから、ラスパイレス指数を引き上げる要因となっています。

ラスパイレス指数の算出対象となる一般行政職員数の推移（各年4月1日現在）

年度	平成7年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
職員数	502	356	373	379	385

ラスパイレス指数の算出対象となる一般行政職員数在職年数区分別職員数の推移（各年4月1日現在）

一般行政職員数 在職年数区分別職員数の推移（各年4月1日現在）										
年数区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計	10年以上 の職員数
平成9年	31	37	49	42	113	99	60	62	493	425
平成14年	41	26	36	39	19	107	79	63	410	343
平成19年	9	40	29	35	38	18	77	85	331	282
平成24年	78	22	44	32	33	34	16	59	318	218
平成31年	58	98	74	37	36	41	25	16	385	229

(2) 国家公務員との昇任制度の差による要因

国家公務員では高校卒業の職員が課長職以上になることは稀ですが、本市では高校・短大卒の職員であっても職務遂行能力に応じて部・課長に昇任しています。そのため、高校・短大卒の職員に係るラスパイレス指数が国よりも高い水準となっており、指数全体を引き上げる要因となっています。

本市の対応

これまで、職員給与については、次長級、課長補佐級のポストの廃止、手当の廃止・変更、昇給の抑制など、給与制度を見直してきました。また、所属部署の統廃合による管理職ポストの適正化など計画的な組織体制に戻るよう取り組みを進めてきました。

しかしながら、これまでの取り組みだけではラスパイレス指数の漸減に時間を要してきたため、即効性を重視し、時限的に給料月額を減額措置を実施しています。

対象者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
部長級	給料月額の5%を減額	給料月額の5%を減額	給料月額の4%を減額	給料月額の4%を減額
課長級	給料月額の3%を減額	給料月額の3%を減額	給料月額の2%を減額	給料月額の2%を減額
課長補佐級・係長級	—	—	給料月額の0.5%を減額	給料月額の1%を減額

平成31年度公表された給与実態調査では、一般行政職の平均給料月額は、全市区町村の平均給料月額を下回る結果となっています。

	全市区町村	芦屋市
平均給料月額 (一般行政職)	313,074円	294,400円

また、ラスパイレス指数についても、管理職ポストの整理や計画的な採用など、職員構成の改善等により、給与水準の適正化に向けた効果が出てきているため、今後は減少すると見込んでいますが、引き続き職員の適正な給与水準の確保に努めていきます。